



2020年9月9日【第1183回】



クラブ会長ターゲット

「会員増強なくしてクラブ繁栄なし」
"If members don't increase,
club won't prosper."

2020-2021年度
東京臨海ロータリークラブ会長
佐久間 裕章



国際ロータリーテーマ

「ロータリーは機会の扉を開く」
"Rotary Opens
Opportunities"

2020-2021年度
国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク

創 立 : 1994年8月8日
会 長 : 佐久間 裕 章
副 会 長 : 佐藤 大 輔
幹 事 : 坂本 康 朋
プログラム長 : 篠塚 慎之介
(会報担当)

9月9日の卓話

「イニシエーションスピーチ」
当クラブ会員 寺田 雄司様

9月2日の出席率

会員在籍者数 52名
会員出席者数 38名
会員欠席者数 14名
本日の出席率 74.51%

9月16日の卓話

「イニシエーションスピーチ」
当クラブ会員 太田 智久様

《第1182回 例会報告 2020年9月2日》

司会：勝間田 SAA 委員長



■ 点鐘：佐久間裕章会長

皆さんこんにちは。本日は朝早くから衛星クラブについて、皆様で凄く良い会議ができたなと思っております。また東京臨海 RC が拡大に向けて、また一步踏み出した1日となったのではないかなと思っております。本日は若林ガバナーエレクト様はじめ、多くのご来賓の皆様にお越し頂きましたこと、心より感謝申し上げます。

■ 国歌斉唱 「君が代」

：ソングリーダー：伊藤副委員長



皆様おはようございます。9月に入って暑さも和らぐのかなと思いましたが、和らぐ。今日は満月らしくて、9月の満月と言うのは「ハーベストムーン」と言うらしく、ハーベストは何かと言うと収穫という意味らしいです。

■ ロータリーソング 「奉仕の理想」

■ 「四つのテスト」 斉唱（歌）

■ 「ロータリーの目的」東京臨海 RC Ver. 唱和

：佐藤大輔副会長



■ 来賓・ゲストスピーカー紹介：佐久間裕章会長

・ 国際ロータリー第2580地区

ガバナーエレクト 若林英博様（東京麹町RC）

・ NPO 法人らいおんはーと 理事長 及川信之様

・ 一般社団法人パラボールリーグ協会

理事長 栗山義広様（東京臨海西RC）

■ ビジター紹介：榎本会員

西野充英様（東京臨海西RC）



■ 来賓挨拶

- ・ 国際ロータリー第 2580 地区
ガバナーエレクト 若林英博様（東京麹町 RC）



皆さんこんにちは。まるで体育会系の部室に来たような感じでびっくりしております。東京麹町 RC 所属の来年ガバナーになります若林英博と申します。よろしくお願いたします。今日の目的なのですが、杉浦君が私の年度の地区副幹事です。それで、こき使いますよ、という了解をいただくというのが 1 つと、クラブ運営支援委員会を田村さんをお願いしたいというようなお話で参りました。このクラブは顔見知りの方がたくさんおられますが、このクラブは 2580 地区の中でズバ抜けたモデル的なクラブだと思います。会員の増強、クラブの拡大ということで本当に頼もしく思っております。私なんか口を挟むことなど全くないと思います。1 つだけ、先日 RI の次年度の私がガバナーになる時の RI の会長インドのシェカール・メータ氏と、日本の地区は 34 ありますけども、ガバナーエレクト 34 名が zoom で会議をしました。初めての事なので非常に緊張していました。全体として何をおっしゃったかと言うと 6 割が会員増強です。世界のロータリアンは 118 万人います。それをなんとか 130 万人まで増やそうということをおっしゃってます。1 人 1 人が 1 人を呼ぼうとおっしゃってるんですが、この臨海はそういう事を言わなくても大丈夫ですけども、本当に 1 人 1 人が 1 人をというのは言葉では簡単なんです。1 人が 1 人を連れてくれば倍になると、どこのクラブでも簡単に言うんですが統計で見えますと、クラブの 35%の方が紹介、人を連れてくる。残りの 65%は 10 年経とうが 20 年経とうが 30 年選手でもゼロという事です。やっぱりどうしたらいいか会員増強の話をするんですけど、ここもやってると思おうんですけども普段ポケットの中に自分ら臨海のパンフレットを持っているかということと、あなた一言で RC は何をやっているかと言えますか？簡単なのは、一緒にご飯を食べようとかなんですけど、やっぱり RC は親睦と奉仕の団体ですから、一緒に奉仕をしようよというのは本当の筋です。入会してから、急に奉仕をやるんだったら、俺そんなつもりじゃなかったと言われるのもなんなので、ポケットの中にパンフレットを忍ばせておくことと、飲み屋に行っても隣にいる、この人凄いなという方がいたらぜひ誘っていただきたいということです。会員増強と言うのは覚

悟が要るんです。とにかく皆さん一人一人が覚悟を持って皆さんが営業マンというような感覚を持っていただきたいと思います。今日はこういった場を与えていただきありがとうございます。これからよろしくお願いたします。

- ・ 一般社団法人パラボールリーグ協会
理事長 栗山義広様（東京臨海西 RC）



皆さんこんにちは。ご存じない方もいらっしゃると思いますが、私はこのクラブの 24 代目の会長でもありました。さらに翌年、臨海西の初代会長、2 代目会長を仰せつかって一生懸命会長が終わったと思ったら理事長になってしまいました。ありがたく拜命をいたしまして活動をさせていただいております。今日はお知らせと協賛のお願いをさせて頂きたく参上いたしました。皆さんのお手元にパラボールリーグへの寄付、協賛のお願いというものがあります。パラボールリーグがどういうものかといいますと、先ず、そこから説明させていただきます。「障害をもたれた方々との共生の実現」、「障害をもたれた方々とその家族に青空の下、笑顔でスポーツに親しんで欲しい」という思いが協会にはあります。昨年 12 月 8 日に皆様のご協力、ご協賛いただき、無事に臨海西 RC が中心となりパラボールフェスティバルをやらせて頂き、お陰様を持ちまして「意義ある奉仕賞」をいただきまして、次の地区大会で表彰されるということになりましたので、素晴らしい事業である事は確実でございます。つきましては、今年度予定しておりました 11 月 6 日のパラボールフェスティバルは、江戸川区の各主要事業が中止になった関係上、私共も障害者のコロナ感染予防を第一に考えまして中止とさせていただきます。それに代わるものとしたしまして、スポンジボールとスポンジバットを江戸川さん障害フォーラム様への寄贈、コロナ禍の中、イベント等が続々と中止となり、B 型障害者施設で制作された作品を展示・販売する機会を失われ、工賃を受け取れない障害者就労者を支援するために、ショッピングカタログの制作、販売の場を提供するという事に皆様のご支援、ご協賛をいただきたいと思っております。つきましては、申し込み用紙をご記入いただき、取りまとめを村社社会奉仕委員長をお願いしておりますので、お金と申込書を添えて、領収書は後日、広告費といたしまして出します。期日としましては、2 週間前後を目処にと考えており

ますが、皆様早く集めていただくと村社さんも助かり、私も助かります。お金が集まり次第カタログのほうは 10 月前には皆様の会社名個人名等を入れたものが出来上がります。それを 10 月にはお手元に届くようにいたします。ぜひ障害者の方が作った作品等をお買い上げいただきまして、ご支援いただきますとありがたいと思います。最後にもう一つだけお願いがありまして、東京臨海西 3 周年合同例会の時に障害者の皆さんに即売会をやっていたきたいと、ブースを作ったり、販売支援をしていただいたりするのに多少お金がかかりますので、温かい目で見てください。協力の方をよろしく願いいたします。ありがとうございました。

■ 9 月のお祝い：親睦委員会 尾身副委員長



- ・ 会員誕生日 大澤成美会員、齊藤実会員、村社研太郎会員、高吉泰尋会員、金城健二会員、立花純会員
- ・ 奥様誕生日 今井博会員夫人、尾身治彦会員夫人、杉浦孝浩会員夫人、寺田雄司会員夫人、小松啓祐会員夫人
- ・ 結婚記念日 高吉泰尋会員、福田義正会員



- ・ 出席 100% 26 年：齊藤 実会員
23 年：須藤宗之助会員
- ・ 「誕生日の歌」：ソングリーダー：伊藤副委員長
- ・ 1 分間スピーチ：金城会員



先日入会させて頂きました、株式会社優健工業の金城と申します。今日はちょっと驚いているんですが、このような形でハッピーバースデーということで、皆さんの前で祝いいただけた事を感謝申し上げます。本当にありがとうございます。私は入会したばかりで RC の事も未だ何もわかっていないところもあるんですが、とりあえずは先ずできること、毎回出席し、一步一步前進して成長して行けたらと思います。今後ともどうぞよろしく願いいたします。ありがとうございます。

■ 会長報告：佐久間裕章会長

- ・ 一般財団法人比国育英会バギオ基金より、第 66 回感謝状が齊藤実会員に届いておりますので贈呈いたします。



■ 幹事報告：坂本康朋幹事

- ・ ロータリーの友 9 月号、ガバナー月信 9 月号、バギオだより 9 月号をメールボックスに配布しました。
- ・ 今年 7 月の熊本豪雨と福岡豪雨に対する義援金を先週 (8/26) の例会にて支援金の協力をお願いし、4 万円集まりましたので、ニコニコ委員会費より 2 万円を拠出し、合計 6 万円を第 2580 地区へ送金致しました。義援金は、第 2580 地区経由で、第 2720 地区 (熊本・大分) と第 2700 地区 (福岡) へ送金されます。
- ・ 9 月のロータリーレートは、1 ドル=106 円です。
- ・ 「日本の国際ロータリー加盟 100 周年記念切手展」が、9 月 17 日 (木) ~ 9 月 18 日 (金) に、公益財団法人日本郵趣協会 (切手の博物館) にて開催されます。チラシを掲示いたしましたのでご覧ください。
- ・ 9 月の定例理事役員会を本日例会後 3 階「蓬來の間」で開催致します。



■ 出席状況報告：この方です↑

⇒ 詳細 1 頁バナー下に掲載。

■ ニコニコ BOX 報告：櫻田委員



(ご意向) 齊藤先輩、杉浦次年度地区副幹事、田村さん、酒井さん、その他皆様、これからよろしく願います。: 若林英博ガバナーエレクト (東京麹町RC)

(ご意向) 本日は、パラボールフェスティバルのご案内と協賛のお願いに伺いました。宜しく願います。: 栗山義広様 (東京臨海西RC)

(ご意向) らいおんは一と及川理事長、本日の卓話、宜しく願います。: 西野充英様 (東京臨海西RC) 佐久間裕章会長、佐藤大輔副会長、坂本康朋幹事、米衛会員、尾身会員、本多会員、村社会員、伊藤会員、勝間田会員、井上会員、須藤会員、杉浦会員、寺田会員、入澤会員、篠塚会員、今井博会員、田中会員、佐久間栄一会員、酒井会員、高橋会員、内海会員、小松会員、田村会員、柴田会員、白井会員、舛本会員、太田会員、大西会員、入澤会員、地引会員、櫻田会員

(ご意向) 若林ガバナーエレクト、ようこそ! : 齊藤会員

【35件 66,000円 今年度累計 636,000円】

■卓話

「らいおんは一と」 進行 田村会員



●開会会長挨拶 佐久間 裕章会長

皆様こんにちは。本日の卓話「らいおんは一と」後ほど及川理事長の方からご説明があると思いますが、特にまだ入って間もない新入会員の皆様におかれましては、当クラブの看板支援の1つでございますので、しっかり内容を理解していただいて、今後のRC活動につなげていただければと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



●社会奉仕委員長挨拶

・社会奉仕委員長 村社 研太郎

皆さんこんにちは。ライオンハートさんの方は社会奉仕としての看板の事業でございます。今年は中止の行事が多くてなかなか社会奉仕委員としてもやるのが少なく、らいおんは一とさんの支援は引き続きやっていこうと思います。簡単に後で説明があると思いますが、私のほうも実は、らいおんは一とは一番最初から携わっています。らいおんは一と子供食堂は、もともと、及川理事長がPTA会長、私もPTA会長をやってまして、まずはPTAの会長たちで最初子供たちの実態を把握して、朝ごはんを食べられない、そういう子たちをどうかしようということで、及川理事長が仕事を辞めてこういうことをやりだしたと。大体50~60人のPTA会長が集まって最初10万円ずつ出し合って始めたわけではありますけども、なかなか運営的にも難しい、お金的にも難しい、そういうところから鈴木代表にお手伝いいただき本格的に動いた経緯があります。進学フェアというのは、もともと別の話で江戸川区のPTA会長たち、その当時、松江6校といまして、僕は松江1中の会長をしておりました。2中は大輔さんがやりました。3中は及川さんがやっておりました。まず6校から始まって松江地区だけで最初体育館で高校を呼んで、江戸川区の子供は都内の私立の学校がわからないと情報がないということで始めました。それが小松川に広がり全体に広がり、江戸川区全部でタワーホールを借りてやる経緯となり、ここまで大きくなって江戸川区の中学生に高校、都内私立の学校を知ってもらおうということで、ここまで大きくなりました。それを及川さんが支援事業として、らいおんは一との方で引き継ぐという形になります。本当にもっともっと立ち上げの時に大変なことがありまして、大西さんとか、白井さんからお話がいろいろあると思いますけども、本当に皆さんの協力、区の協力をいただきましてやっております。ここに携わってもらって、私も毎月のように何かしら支援をさせていただいている状況です。また皆さんにはこの状況を、ご理解ご協力をいただいて、またご支援賜ればと思いますのでよろしくお願いいたします。

●らいおんは一と概要説明・近況報告

・及川 信之 理事長(らいおんは一と理事長)

皆さんこんにちは。東京臨海RCの皆様には日頃より私も子供食堂を中心とした、子供成長支援活動に、ご協力を頂きまして本当にありがとうございます。この場をお借りして深く御礼申し上げます。東京臨海RCの皆様には、開設当初から多大なるご支援をいただきまして本当にありがたく思っております。今現在、私どもの活動があるのはここにいらっしゃる皆様方のおかげと心より思っております。先ほど村社さんの方から、いろいろご説明がありましたので、5分位という事なので説明を省略致しまして、コロナ禍における活動ということをちょっとだけご説明したいと思います。子供食堂、皆さんご存知かと思いますが貧困家庭、ご飯を食べられない子供に

ご飯を食べさせるということで活動してきましたが、ご飯を食べさせるだけではだめだと、なぜかと言うとお腹いっぱいになっても、悪いことをする子は悪いことをするんです。ちゃんと育つかというとそうでもないんです。私たちが、らいおんは一とが求めるのは、社会に通用するような人間になってもらいたい、成長支援というところがここに加わっております。月に1回とか週に1回とかやる子供食堂さんとはちょっと内容が違っていて、子供が成長するにあたって全てのことを我々が後から、ちょっとだけ背中を押していこうと、そういう考えから毎日、子供食堂を始めております。日本全国毎日、子供食堂をやっているところを調べてみたところ、東京都板橋区にもう一つあるんですが、その代表の方と話をすると日曜日・祝日は休みだということで毎日じゃないみたいな話なんです。私どもは365日いつでも子供が来ても対応できるように常に家庭のこともあります。うちの家族の理解のもと、子供食堂を第一に考えて、この2年間やって参りました。2年の間、京葉鈴木記念財団の鈴木代表のお力添えの下、場所をお借りして開催をして参りました。コロナ禍の中で子供食堂が相次いで休止、弁当の配布に変わる中、われわれは毎日やろうと、居場所のない子供、家で1人寂しくしている子供がたくさんおられました。そんな子を誰が面倒みるんだということで、我々だけでもやろうとコロナ禍の中、毎日開催します。3月2日の学校休校より6月22日学校が再開するまで701人の子供が、累計ですが私ども「ぬくぬく」というところに来てご飯を食べて勉強して遊んで、体験活動いろんなことをやって参りました。その中で十分に感染予防に注意しながら頑張っておりました。3月2日から8月の間、1188名の子供が来ております。それだけの子供が家庭学校に居場所はない、そういう子が実際にいるんです。ご家庭の支援としてコロナ禍におけるぬくぬくの活動の中で条件をつけて子供たちに参加してもらいました。その条件の中にはありますが、来た子は、お父さんがいない子、お母さんがいない子、両親がいない子、両親がいても子供に関心がない親、そういう親が実はたくさんいるんです。そういう子を救えるのは、我々大人の役割ではないかということで、みんなで力を合わせて頑張っておきました。コロナはまだ終息していませんので、これからもっともっと、たくさんの子が辛い思いを今、現在もしていると思います。そういうところにかかにして届けるかと、聞いてもらえるかという所、皆様のご協力なしではできないことかなと思っておりますので、よろしく願いをいたします。子供食堂+ご家庭の支援、フードパントリーというのも始めております。不登校支援ということでフリースクールもやっております。様々なことを総合的に我々が対処しながら子供たちを健全に育て、ここにいる皆様方の優良企業、会社に、将来的に子供たちを送り込んで行きたいなと思っております。会社は1番大事なものは社員、人だと思っております。そういう人を育てるのが我々の子

供食堂らいおんは一との仕事だと思っておりますので、ぜひ皆様のお力添え今後ともよろしく願いいたします。



●サポート支援の経緯説明理事

・鈴木孝行（らいおんは一と顧問）

皆さんこんにちは。ある時、明治大学の教授、青山先生（元東京都副知事）が「鈴木さん、あなたお金あるんだから子供食堂やれば」と授業の中で言ってくれました。子供食堂を知りませんでしたので帰って調べました。江戸川区は70万人の人口で未就学児が2万人、小学校70校小学生3万5千人、中学校30校中学生1万5千人、小中学校で5万人の生徒がいました。江戸川区が全部それを統計としておりまして、その中の6%の人たちが朝ごはんを食べていない。3千人です。3千人のうちの3分の1が朝起きられないから、3分の1が食べたくないから、3分の1は親が作ってくれないからというような理由でした。ここで何かしらなくてはいけないと思ひ、稼いでお金を使おうと考えてました。江戸川区に相談、後ほどお話があるかと思いますが、大西洋平区議会議員、白井正三郎区議会議員（元江戸川区教育長）にお話をし、江戸川区に支援するから何とかならないかと、らいおんは一とさんに知り合う1年前からずっといろんな情報をとってました。そして調子のいいこと言う人いっぱいいるんです。それは親が悪いんだ、親の責任だと。悪いことを見つけたって結論でないんです。悪いものは悪いで置いておくしかないです。悪いからといって子供たちに何もしないではなく、何かしてあげなくてはというところまで考えておりました。それから1年経ちました。らいおんは一とさん、白井先生、大西先生がおいでになったんです。「よしやろう!」、「何が欲しい? お金が欲しいです」、「何が欲しい? 場所が欲しいです」、「何が欲しい? 支援が欲しいです」、「何が欲しい? 鈴木さんの後押しが欲しいです」、これが1番大変だったです。でもやることになりました。たまたま、うちの自動車修理工場の上が約50坪あるんですけども、そのうちの35坪位を使っていただくようになりました。この経緯というのは、世の中が悪いとか、親が悪いとか、悪いのを見つけるのは簡単なんです。悪いのを見つけたからといって世の中良くなるのか、悪いものが改善するのを待ってたら子供は成長しない。と思ひました。私も支援しましたがRCのみんなに声掛けしましたら、全員賛同してくれました。ありがたいですね。臨海西、臨海東、ここにいる人たちもいっぱい御支援してくださっております。そこに偶然に、佐藤大輔さん、佐藤正樹さん、村社さんとかが実は昔から関与していたことに結びつきまし

た。戻りますけども、何が大事かといいますと、私たち事業主でありロータリアンで、日本全国に救済の手を差し伸ばせる事はできませんが、自分の身の回り、その地域でもっともっと、この話題が広がれば良いと思っております。子供食堂は将来ツブしてあげたい。良くなったとしてそう思いながら、その途中の段階で私どもが支援させていただいている次第であります。ですからここでお願いです。本題です。私1人が10万円出すのは簡単です。ここにいる皆が10万円出したらもっと大きくなりますし、10万円とまでは言いませんけどもせめて1万円、1人の人間が多く出すよりも、多くの人間が少しずつ出していただけるような、そういった支援の体制に持って行けたらなと思っております。もちろんウチの会社の社員200数十名もやらせていただいておりますし、すでに新しい方以外は、この話を知っておられる方から支援をしていただいております。やはりそういうところにRCは関与して初めて、この地域密着の、または行政が喜ぶような、そして行政や法律ではできない事をやらせていただく事がRCにとってもすごく価値のある、意義のあることなんじゃないかなと思っております。本日はありがとうございました。

●らいおんは一と近況状況

・白井正三郎 会員（らいおんは一と相談役）

皆さんこんにちは。この活動は鈴木代表なくしてはできなかったです。グリーンパレスの発会式での鈴木代表のお話を思い出していました。ここの特徴をいいますと365日、及川理事長がいて朝昼間休みなく食事を出せる。勉強の場になっており不登校の子供たちは区の施設じゃないのに、ここに来ると校長先生が認めると学校に行っているという出席扱いになる。コロナウィルスの影響もあり、シングルマザーの方々が、お金が大変になって食べるのも大変になってフードファクトリーやって食事を差上げることができるようになっております。先日、東京都の社会福祉協議会の幹事の太田先生という方、大学教授の方と知り合いになりました。及川理事長もいたんですが、その方に来ていただき場所を見させていただきました。非常に感銘を受けてらっしゃいまして、どうしてこんなことができるんだと言っておりました。2つあります。1つ目は及川理事長のような会社を辞めて365日休まずに来てくれる方がいる人材、もう一つはこのRCの皆さんもそうですが鈴木代表のような方がいる。この2点だと思います。これをシステム化して全国にぜひ普及させて紹介したいと太田先生は言うておりましたので、皆様には感謝の言葉とともにそのことをお伝えしております。これからどうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。



・大西 洋平 会員（らいおんは一と顧問）

皆さんこんにちは。今日は貴重な機会をいただき誠にありがとうございます。先程から話がございましたが、今日まで活動ができていられるのも鈴木代表、皆様のお陰でございまして、思い浮かべますとNPO法人を立ち上げるという最初の説明会4年位前ですけども、いろいろ中には子供を使って金儲けをするのかと、心なく子供食堂のことをご存じない方から罵声を浴びたりとか、活動する場所がないとか、まさに手探りからスタートしてきたわけです。本当に及川理事長の御努力で今日までつないでいるわけでございまして、これから、更に更に活動を広げていきたいということをお願いに上がっている訳でございます。コロナ禍であります、先ほど毎日子供食堂というお話がございました。コロナ禍の中で人が集まるのは大変だということで、なかなかやっていない子供食堂もあったんですが、らいおんは一とに限っては完全な消毒体制を整えまして、お話に出ましたけども、このコロナ禍の時だからこそ虐待とか行き場所がないとかが多いので、その受け皿として及川理事長が不眠不休でやってくれている訳でございます。重ね重ねでございますけども、こういった活動ができるのも皆さんの支援のおかげでございますし、今後さらに踏み込んで活動していくのもご支援があってこそでございますので、どうぞ皆様、引き続き温かいご支援をいただければ大変ありがたいと思っております。よろしく願いいたします。本日は誠にありがとうございました。

●閉会

・副会長挨拶 副会長 佐藤大輔



私と、村社会員、佐藤正樹会員と縁があって、この、らいおんは一との評議員をやらせていただいております。本日は及川理事長、お越しいただきましてありがとうございます。皆様、今までお話を聞いて頂き、らいおんは一とが、どういうところか分かっていただいたと思います。日本全国いろいろなところで子供食堂がありますけど、比較的多いのが週1回とか2週間に1回とかそういう感じです。週1回ご飯を食べただけじゃ子供たちはダメなんです。やはりご飯は毎日食べないといけない。それを及川理事長は一生懸命、毎日毎日365日やられております。我々もコロナ禍で貧困問題をどうでもいいやと思っている人は1人もいないと思います。どっかみんな心を痛めている、みんながそう思っていることだろうと思っております。そんな中、我々東京臨海RCは一丸となってクラブとして、らいおんは一とを支援していくという行動をしておりますので、皆様、資

料の中にらいおんは一と入会申込書、企業用という紙が入っております。左上に CSR 会員という言葉があります。CSR 会員というのは企業の CSR 活動の一環として支援してくださいと。月 1 万円で年間 12 万円。我々臨海 52 名の会員がいますので、全員 CSR 会員になって 624 万円年間で集まります。ここに臨海西さん臨海東さんが加わってくれば年間 1 千万円越えもわからないじゃないかなと思います。何とか毎日毎日子供たちに、ご飯を食べさせてあげたいです。今は 1 カ所ですべての子供たちに支援が行き渡るように時間がかかるかも知れませんが、やっていきたいと思っておりますので、CSR 会員というところに丸をつけてもらって提出していただけたらと思います。長時間にわたり本日はありがとうございます。



■ 点鐘：佐久間裕章会長

皆様、大変長時間にわたりお疲れ様でした。若林ガバナリーエレクト様、栗山様、及川様ありがとうございます。東京臨海 RC は一致団結。先ほど若林ガバナリーエレクト様がおっしゃっていた体育会系でございます。右と言え右、黒と言われれば白でも黒というクラブではございますが、本当に社会奉仕とはお金がかかることでございます。なので稼ぎ方をみんなで勉強しようという職業奉仕含めてすごく活気ある、また勢いのあるクラブだと思っておりますので、ぜひひ地域のため、国のため、そして、個人の自己研鑽のためにみんなで頑張る切磋琢磨していきたいなと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。